



青き楓

島高だより
平成21年6月
(高総体特別号)
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

県高総体特集

5本の優勝旗



校長室から



「島高魂と島高旋風」

校長 辰田幸敏

県高総体の壮行式で私は選手たちに「島高魂を発揮し、県下に島高旋風を吹き込もう！」と呼びかけたが、生徒たちは私の期待以上によく頑張ってくれた。

まず、開会式の入場行進がよかった。行進している選手団を見て、私自身目頭が熱くなった。他校の校長先生方からも「島高が一番」とおほめの言葉をいただいた。昨秋の県新人戦で5本の優勝旗を獲得していたので、この時私は「もしかしたら…」と思った。レスリング、ソフトテニス男子、剣道男子と女子、弓道男子の5本の優勝旗は、昭和31年に本校から島原商業高校が分離独立して以降初めての快挙である。公立高校では昭和51年の長崎南高校以来34年ぶりの大記録である。島高は、島高生はすごい！

また、15名ぎりぎりでの出場したラグビー部も1回戦勝利するなど全ての部が1回戦を勝ち抜いた。これもなかなか達成できないことであり、うれしい限りである。

優勝した部の中には早朝補習前の7時ごろから、あいさつ運動や学校周辺の清掃活動などに自主的に取り組んでいる部もある。試合や遠征等の際、会場の掃除をして帰る部も多い。地域のボランティア活動に参加する部もある。まさに「徳」を中心に据えた校是<文武両道>の実践である。島高の部活動の強さは顧問の技術面やメンタル面の指導力は言うまでもないが、生徒たちの「ハート」と「自己管理」にあるような気がしている。

会場で熱い応援をいただいた保護者、そして一般生徒、教職員、PTA、地域や同窓生の方など「チーム島高」としての総合力で5本の優勝旗がとれたのではないかと感謝しているところである。本当にありがとうございました。

優勝おめでとう！

【剣道部男子 主将：大坪学嗣】

今回の高総体で剣道部男子は3年連続、男女アベック2年連続優勝を果たすことができました。このような結果を残すことができたのも、渡邊先生のご指導をはじめ、保護者の方々、学校の先生方、そして地域の方々の応援があつてこそその結果と感謝しています。私達は、これから後に控えている九州大会、玉竜旗、インターハイ、国体、どの大会も優勝するために、これからの稽古に励んでいきたいと思っています。応援ありがとうございました。

【剣道部女子 主将：小森田 浩】

私達剣道部女子は、「全国制覇」を目標に日々の練習に取り組んでいます。高総体は全国への第一歩なので、この高総体は絶対優勝するという想いがありました。そして、大会では9人全員で戦い、チームの仲間を信じて戦い抜きました。しかし、私達の力だけでは勝てなかったと思います。指導して下さる渡邊先生、応援して下さる保護者の方、多くの人の支えが私達の力になったのだと思います。今度はインターハイに向けて、さらに一層力をつけ、必ず優勝します。これからも応援よろしくお願いします。

【弓道部男子 主将：鉦和希】

僕達弓道部はこの一年間高総体優勝を目標に日々練習に励んできました。今回の優勝は、選手一人一人が自分から逃げず、真剣に弓道に向き合ったこと、部員一丸となって一生懸命選手をサポートできた結果だと思っています。柿原教頭先生に約半年間筋トレの指導をしていただき最終日最後の一本までしっかりと弓を引くことができたのも大きかったです。これからも今までお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れず、全国制覇、県連覇を目標にしっかり練習していききたいと思います。応援ありがとうございました。

【ソフトテニス部男子 主将：本田雄大】

僕達は6月6・7日に行われた団体戦で、昨年の優勝校である南山高校を2-1で破り、5年ぶり6回目の団体優勝を成し遂げることができました。この勝利は選手だけでなく、今まで練習を共にしてきた全員とチーム一丸となり勝ち取った優勝だと思います。しかし、この結果に満足はせず、今後行われる九州大会では優勝、インターハイではこのチームで経験したことのない全国大会なので初戦突破を目標とします。暖かく見守り応援してくださった方々へ感謝の気持ちで一杯です。暑い中での応援本当にありがとうございました。

【レスリング部 主将：村上貴之】

今回の高総体、レスリング競技は本校での開催ということで、たくさんの応援をいただきました。絶対に負けられないプレッシャーもありましたが、皆さんの応援は自分たちにとって大きな力となりました。団体戦を制し3連覇を達成でき、本当にうれしく思います。個人戦でも、8階級中6階級で優勝し、昨年以上の結果を残すことができました。これから九州・全国大会に向け、さらに頑張っていきます。今後とも島高レスリング部への応援をよろしくお願いします。本当にありがとうございました。

優勝旗の輝き

PTA会長 蒲池興照

その日は満月でした。「優勝旗5本」の連絡を受け、車を走らせる正面に堂々たる輝きを見せていました。汗と涙と感動と笑顔の輝きでした。

剣道男子、剣道女子、弓道男子、ソフトテニス男子、レスリングの5部が見事優勝を果たし私たちに深い感動を与えてくれました。団体・個人の優勝を勝ち取った出場選手諸君と支えた仲間達、そして見事な指導を果たされた先生方に…「よくやった、素晴らしい、有り難う」。優勝旗一本。置いてある物を持ち帰るのではありません。互いに目指し合う者が競い合い勝ち残った頂点の一本です。スポーツの世界で、困難な相手に立ち向かうとき「今まで、お前がやって来たことを思い出せ」と励ます場面を見ますが、今までの苦難の努力を一瞬で反芻し満身の力となす業を持った者が勝者となるのでしょう。

インターハイに向け、更なる力を発揮してくれるよう応援します。



★

県高総体結果

★

『5本の優勝旗』『心』『技』『体』の総合力の勝利

全国・九州でも「島高旋風」巻き起こせ！

- レスリング 圧倒的な強さで3年連続25回目。個人戦も6階級制覇。全国でも上位進出が期待される。
- ソフトテニス男子 5年ぶり6回目。ハラハドキドキの試合もあったが、強豪校をなぎ倒しての勝利。試合前の校歌斉唱、早朝の挨拶運動、清掃活動が優勝旗を呼び込んだ。心、技、体の総合力の勝利。
- 弓道男子 5年ぶり11回目。決勝リーグ全勝の圧倒的勝利。女子は惜しくも準優勝。男子監督島田先生と女子監督宮本先生名コンビの指導が選手の力を大いに引き出しての勝利。
- 剣道女子 2年連続7回目。大将戦でも決着がつかず、代表戦。相手は個人戦1位の選手。18分の激闘の末、無我夢中の「こて1本！」優勝をもぎとった。
- 剣道男子 3年連続6回目。大将戦、まず、試合開始直後1本取られた。試合時間、残り10秒、九分九厘負け試合から、怒濤の1本！、延長で1本取り、逆転勝利。男女アベック優勝は2年連続。

競技名	試 合 結 果		すばらしい行進
陸 上 競 技	男子400m 徳永 3位→ 北九州大会出場 女子円盤投げ 神田 4位→ 北九州大会出場	男子400mH 徳永 3位→ 北九州大会出場 女子800m 池田 4位→ 北九州大会出場	
水 泳	女子200m自由形 上田 第5位→ 九州大会出場 女子100m平泳ぎ 藤田 6位→ 九州大会出場 、園田 7位 → 九州大会出場	女子200m平泳ぎ 藤田 第5位→ 九州大会出場 女子200m個人メドレー 上田 6位→ 九州大会出場	
体 操 男 子	<団体> 総合第4位		
体 操 女 子	<団体> 総合第4位 末吉友紀穂→ 九州大会出場		
テ ニ ス 男 子	<団体>【1回戦】 対 五島海陽 3－0 勝 【2回戦】 対 長崎南 2－1 勝 【3回戦】 対 佐世保南 0－2 負 ベスト8		
テ ニ ス 女 子	<団体>【2回戦】 対 上五島 2－1 勝 【3回戦】 対 海星 0－2 負 ベスト8		
バスケット男子	【1回戦】 対 長崎鶴洋 90－61 勝 【2回戦】 対 西海学園 92－131 負		
バスケット女子	【1回戦】 対 北松農業 126－23 勝 【2回戦】 対 純心 27－119 負		
剣 道 男 子	<団体>【予選リーグ】 対 杵岐 3－0 勝 【決勝トーナメント1回戦】 対 上五島 3－0 勝 【準々決勝】 対 瓊浦 4－1 勝 【準決勝】 対 長崎東 2－0 勝 【決勝】 対 西陵 2－1 優勝→インターハイ出場、九州大会出場 <個人> 大坪 優勝→インターハイ出場、九州大会出場 入江 ベスト8→ 九州大会出場		
剣 道 女 子	<団体>【予選リーグ】 対 西海学園 3－0 勝 【決勝リーグ】 対 長崎東 3－0 勝 対 北陽台 1－0 勝 【準決勝】 対 諫早 3－0 勝 【決勝】 対 西陵 1－1 代表戦 優勝→インターハイ出場、九州大会出場 <個人>小森田 準優勝→ インターハイ出場、九州大会出場 平石 第3位→ 九州大会出場 岩本 第3位→ 九州大会出場		
バレーボール男子	【1回戦】 対 長崎明誠 2－0 (25-16、25-18) 勝 【2回戦】 対 対馬 1－2 (25-20、18-25、14-25) 負		
バレーボール女子	【1回戦】 対 五島南 2－0 (25-11、25-9) 勝 【2回戦】 対 創成館 0－2 (19-25、15-25) 負		
レ ス リ ン グ	<団体>【第1試合】 対 島原翔南 7－0 勝 【第3試合】 対 島原工業 6－1 勝 優勝→インターハイ・九州大会出場 <個人>96kg級 馬場 84kg級 松尾 74kg級 村上 66kg級 松本 55kg級 原田 50kg級 吉田 ... 優勝→インターハイ・九州大会出場 60kg級 草野 50kg級 柳堂 ... 準優勝→ 九州大会出場 50kg級 伊藤 66kg級 稲田 74kg級 岩永 ... 第3位		
ソフトテニス男子	<団体>【2回戦】 対 長崎東 2－1 勝 【3回戦】 対 西彼農業 2－0 勝 【準々決勝】 対 佐世保工業 2－1 勝 【準決勝】 対 長崎北 2－1 勝 【決勝】 対 長崎南山 2－0 優勝→インターハイ出場、九州大会出場 <個人>平川・森崎組 順位決定戦2勝1敗→ インターハイ出場、九州大会出場		
ソフトテニス女子	<団体>【2回戦】 対 活水 3－0 勝 【3回戦】 対 諫早東 2－1 勝 【準々決勝】 対 佐世保商業 1－2 負 ベスト8 <個人>荒木・和田組 5位→ インターハイ出場、九州大会出場 永野・伊澤組 ベスト16		
弓 道 男 子	<団体>【1次予選】 40／60中 通過 【2次予選】 25／40中 通過 【決勝リーグ】 6勝0敗 優勝→インターハイ出場、九州大会出場 <個人>金本 優勝→インターハイ出場、九州大会出場		
弓 道 女 子	<団体>【1次予選】 35／60中 通過 【2次予選】 21／40中 通過 【決勝リーグ】 4勝2敗 準優勝 九州大会出場 <個人>大島 5位→ 九州大会出場		
ラ グ ビ ー	【1回戦】 対 佐世保南 21－17 勝 【2回戦】 対 長崎北 0－109 負		
サ ッ カ ー	【1回戦】 対 五島海陽 2－0 勝 【2回戦】 対 長崎南山 0－4 負		
卓 球	<団体>【1回戦】 対 五島 3－1 勝 【2回戦】 対 佐世保工業 0－3 負		